

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.20 2009.4.25



福まち通信

菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX011-887-7006



野幌原始林のミズバショウ

21年度福まち運営委員会開催

平成 21 年度の菊水地区福祉のまち推進センターの事業計画や執行予算を決める総会が、4月10日(金)午後4時から菊水地区会館において開催されました。お客様として白石区社会福祉協議会の千葉事務局長や地域包括支援センターの松田・宮崎さんが参加してくださいました。

20年度事業報告

1. 子育て支援事業

就学前の乳幼児をもたれる家庭を対象に子育て支援上を行っています。「どんぐりころこ



ぷりんぷりんの会場風景



運営委員会で議事の進行を務める細野委員長



ひとりOKストラの佐々木さん

福まち役員やボランティアを対象に、活動を進める上での基礎的な知識を習得する目的で年2回研修を実施しました。

ろ」「ぷりんぷりん」ともに年間15回実施し、参加人員は親子で延べ1,200人に達しました。

2. 高齢者ふれあい交流事業



閉じこもりがちな高齢者を対象として、お互いの交流と心身のリフレッシュを目的に年2回実施しました。毎回参加者が多く、催しの内容やお昼のお弁当に参加者の好評を載いています。

3. 福まち研修事業

福まち役員やボランティアを対象に、活動を進める上での基礎的な知識を習得する目的で年2回研修を実施しました。



熱演した福まち劇団の皆さん

4. 広報・啓発事業

広報誌(福まち通信「よつ葉のクローバー」)を年12回発行し、回覧板などでご覧載しています。



毎月発行のよつクロ

5. 高齢独居者の見守り活動

前年に引き続き、各地区町内会の実態に即したやり方で、福まち関係者の方々による見守り活動が行われました。5月にはそれらにかかわっている方による座談会を実施しました。

6. あったかサロンの開催

単年度事業として、福まち関係のボランティアを対象に「あったか昼食会」を実施しました。



あったかサロンの研修風景

7. 協力事業

① お年寄りと子どもの交流会



交流会に参加した人たち

お年寄りと子どもたちが一緒にゲームや昔遊びなどで一日楽しみました。これにはお世話役として、福まちボランティア・菊連女性部・民児協・老人クラブ・子ども会・やよい児童会館・白石区子ども会事務局などが参加しています。

② 菊水地区ホームページ作成

菊水地区まちづくりネットワーク会議が、北海道情報専門学校の学生や職員との共同作業でホームページを作っています。福まち広報部もこれに参加しています。もう少しお待ちいただければご覧いただける予定です。

③ お茶の間サロン・チャオ開設

高齢者が気軽に参加できるサロン第一号が菊水に誕生しました。おしゃべりを中心に、落語などのDVD観賞や唱歌の斉唱などで楽しんでいます。

20年度収支決算

収入 1,450,752 円—支出 1,029,866 円＝繰越金 420,886 円が承認されました。

21年度事業計画



概ね前年度の事業を継承することになりますが、それぞれの事業の質的向上・発展を図ります。また、高齢者のいきいきサロン事業については、昨年開設された「お茶の間サロン・チャオ」に続く、第2第3のサロンの開設に向けて努力することを決議しました。

21年度収支決算

昨年度の予算とほぼ同様の1,551,000円を本年度の予算として承認されました。

新事務局長紹介

20年度まで事務局長を務められた井東事務局長に代わり、佐藤剛さんが新しい事務局長として就任されました。

佐藤さんは、菊水3条5丁目町内会の会長を務められ、菊水南連合町内会副会長と菊水町内会連絡協議会の理事を兼務しておられます。



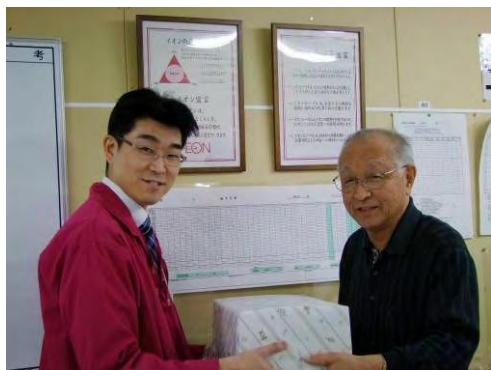
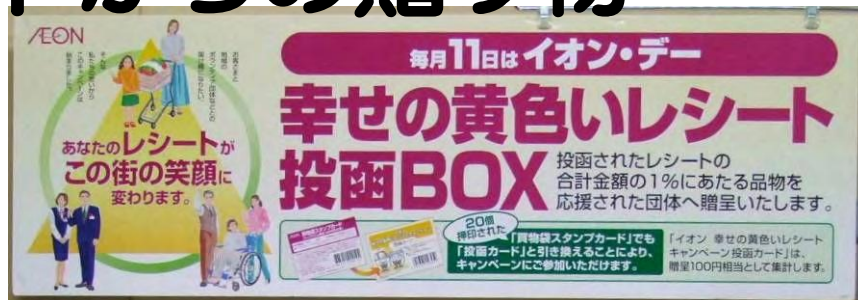
写真は左から新任の挨拶をされる佐藤事務局長。中央と右は運営委員の皆さん

黄色いレシートからの贈り物



4月18日東さっぽろ2条1丁目のイーアス内のスーパーマーケット・マックスバリュ東札幌店様から洗剤などの贈り物を戴きました。

井東福まち副運営委員長が同事務所で太田店長から受領しました。



太田店長と井東副会長

ご存知のようにマックスバリュでは「幸せの黄色いレシート運動」を全国規模で行っています。毎月11日をイオン・デーとしお客様に黄色いレシートをお渡しし、お客様の自発的行為で回収ボックスに投函していただいています。その売り上げ金額の1パーセントを地域のために活用していただこうと、今回のように贈呈を行っているのです。

これは、企業が行う一種の社会貢献事業で「メセナ」とよばれています。欧米では比較的早くから行われていますが、日本においては1988年の日仏文化サミットを機に広がりを見せているものです。

アメリカ発の金融危機から生まれた世界同時不況は、今我々の生活に大きなダメージを与えていますが、これを機会にこれまでの経済成長優先主義を見直し、生活者の立場で社会のあり方を考えてみる必要があるのではありませんか。企業も地域に存在する限り住民とともに共生しているのですから、今後も「黄色いレシート」が発展的に広がっていくようお配慮を続けていただきたいと思います。



メセナとは

メセナとは、フランス語で「文化の擁護」を意味します。企業が資金を提供して、文化・芸術活動を支援することを指します。代表的なものとして、企業が主催するコンサートやオペラの公演、スポーツなど各種イベントの開催などがあります。

現在では「企業が行う芸術・文化支援」から、教育や環境、福祉なども含めた「企業が行う社会貢献活動」と、広義の解釈が主流となりつつあります。

送る人・迎える人

雪が解けると、今まで冬眠していた木々は一斉に芽を吹き出します。春は人間社会にも新しい動きを見せます。菊水まちづくりセンターの所長が変わりましたし、白石区社会福祉協議会の事務局長にも人事の異動がありましたので、お知らせします。

中田旧菊水まちづくりセンター所長



菊水まちづくりセンターでの勤務は2年間と短い期間でしたが、地域の皆さんの温かい心遣いやご協力のおかげで、楽しく充実した2年間を過ごすことができました。

菊水地区福まちは、細野運営委員長を中心にスタッフ全員の一体感が強く、白石区内においても活動が活発なほうです。高齢者の交流会などの行事においても、調理スタッフをはじめ皆さんのチームワークが良く、てきぱきと進めていただいています。私も微力ながら、交流会では“近所のおばさん”や“助さん”などのチョイ役をやらせていただき、楽しい思い出を作ることができました。まちセンターでの経験をこれからの仕事に生かしていきたいと思っています。2年間本当に有難うございました。

中 田 雅 季

渋井新任まちづくりセンター所長



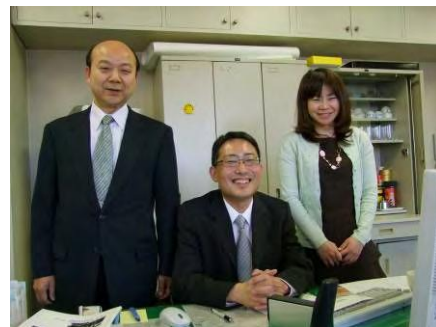
この度、菊水まちづくりセンターの所長として着任しました渋井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まちづくりセンターの仕事は初めてですが、歴史あるこの菊水の地域で皆さんと一緒にまちづくりの仕事がでます

ことに喜びを感じているところです。

地域の皆さんがいきいきと過ごせるコミュニティづくりのお手伝いをさせていただきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。

渋 井 敏 紀



送別の言葉

4月1日の札幌市職員の人事異動により、市長政策室政策企画部政策調整課長に栄転されました。中田さんには、2年間にわたり、住民と区役所とのパイプ役として色々お世話になりました。それと同時に、福まち事業の運営に多大なお力添えと、各種事業の企画・運営に助言やお手配をして頂きました。ふれあい交流会や研修会に見せて頂いた役者としての中田さん。よつクロ編集委員会で、貴重な情報やアドバイスをしてくれた中田さん。あなたは福まちにとってなくてはならない人でした。

新しい職場は、まさに市の中核部門でこれからの札幌市のあり方を企画し調整する重要な任務を与えられました。札幌市全市民の幸せがあなたの肩にかかっているといっても過言ではありません。健康に留意され、職務に専念されることを祈ります。

千葉白石区社会福祉協議会事務局長

4月1日に白石区社協事務局長に着任いたしました。

微力ではありますが、今後、菊水福祉のまち推進センターの皆様との絆を大切にしながら、誰もが安心安全に暮らせる福祉のまちづくりの推進に向けて、全力で取り組んでまいりたいと決意を新にしているところであります。

どうぞ、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

千 葉 勇



編集後記

野山にフキノトウが咲き、庭にはクロッカスが群生する季節がようやく訪れました。冬の間、研修で身につけた福祉の基礎的技術が花開くときです。さあ皆さん、一緒に福祉のまちづくりに汗を流しましょう。
(枝元編集員)